

東海日中関係学会

ピンポン外交50周年記念国際シンポジウム

名古屋ピンポン外交から半世紀の日中・米中関係

名古屋を舞台に小さなピンポン玉が大きな外交を動かした「ピンポン外交」から半世紀—。1971年春の第31回世界卓球選手権大会（愛知県体育館）に参加した米中両チームの交流を機に、敵対していた両国の外交が動き、劇的な米中接近、中国国連加盟、さらに日中国交正常化へと進みました。当時の舞台裏を知る基調講演者の貴重な証言を基に歴史的意義を検証するとともに、半世紀前の教訓に照らして今日の米中対立や日中関係を展望します。

日時：4月17日(土) 14時～17時
(受付 13:30～)

会場：名古屋商工会議所2階ホール
(名古屋市中区栄2丁目10-19)

参加方法：会場参加／オンライン参加

参加費（会場参加のみ）：
一般1000円、学生無料（共催・後援団体会員無料）

—お申込はこちらから—

【会場参加】

<https://forms.gle/pPMw88LmzkePMUZj8>



【オンライン参加】

<https://forms.gle/qjMCfeDpNXNmXQLm6>



第1部 基調講演

小田悠祐 元後藤鉀二 日本卓球協会会長秘書

「ピンポン外交の舞台裏～周恩来総理との会談に同席して～」

第2部 討論

「名古屋ピンポン外交から半世紀の日中・米中関係を考える」

コーディネーター：川村範行 東海日中関係学会会長（名古屋外国語大学名誉教授）

パネリスト：加藤直人 中日新聞論説委員（元中国総局長）

李 春利 愛知大学教授（国際中国学研究センター所長）

上村直樹 南山大学教授（大学院国際地域文化研究科長）

王 泰平 元中国駐大阪総領事（中日友好協会理事、書面参加）

小田悠祐 元後藤鉀二 日本卓球協会会長秘書

メッセージ披露 元米国、日本各卓球チーム選手ほか

—お申込み・お問合わせ・注意事項—

お問合せ先：pinpon20210417@gmail.com（東海日中関係学会 本シンポジウム専用）

定員：会場参加80名、Zoom参加80名（定員人数になり次第、受付終了）

申込締切：会場参加／Zoom参加、いずれも4月13日（火）まで

* オンライン参加者には4月15日までに申込時ご記入のメールアドレスまでZoomのリンク等を送付します。

* コロナ対策：マスク着用・検温等（状況により全面オンライン開催に変更の可能性もあります。）

主催：東海日中関係学会 共催：東海日中貿易センター、中日新聞社

後援：日中関係学会、愛知工業大学、愛知大学、愛知県日中友好協会、日中文化協会、名古屋銀行